

文化課通信



文化振興係 ☎ 46-2344 博物館係 ☎ 37-1000(分館 ☎ 34-3216) 文化財係 ☎ 46-3446

自主文化 TOPICS 事業情報

アートな「いたづらがき」
博物館に加わった新たな魅力

今まで、静岡市の東京海上日動ビルの玄関前に展示されていたブロンズ像が、このたび島田市博物館の中庭に移転設置され、6月1日に除幕式が行われました。

このブロンズ像は同ビルの解体に伴い、作者の友人を通じて、所有者の(株)アイワ不動産から寄贈していただいたものです。博物館の新しい顔として、皆さんに公開していきます。

【市民に親しまれている「あれ」もいたづらがきに?】

除幕式には、寄贈者である(株)アイワ不動産代表取締役の藤井嗣也氏、作者の細谷泰慈氏をはじめ、博物館を訪れていた市民の皆さんや市関係者などが参加し、盛大に行われました。

染谷市長は、冒頭のあいさつで「ご寄贈いただいたブロンズ像が、本市の歴史と文化創造の拠点である博物館の新たなシンボルとして、末永く市民に親しまれ、愛されることを切に願います」と今後への期待を述べました。

寄贈者の藤井氏も「『いたづらがき』は素晴らしい作品。その価値を評価していただける場所に迎えられることに感謝します。作品には、SLが描かれています。ふさわしい場所に設置され、心からうれしく思います」と喜びを語りました。

作者の細谷さんも「昔、塀にいたづら書きしたことを思い出して作りました。子どもたちには、作品の中に入ったり隠れたり、作品と戯れ触れて楽しんでほしいと思います。そして、見る作品から参加する作品になっていくことを期待します」と笑顔で話しました。

【来館者の声】
「温かい感じがする作品ですね。見る作品から参加する作品に、という言葉に感激しました」(40代女性)

「壁に描かれた落書きが面白いですね。銀河鉄道999をモチーフにしたSLやへのものもへじなど、自分の時代のもので、とても懐かしいですよ」(60代男性)

「角度のついたドアのノブに触りたくありません。こだわりが伝わってきますね」(20代女性)



ブロンズ像の概要

作品名/ 「いたづらがき」(1982年作)
大きさ/縦 150cm 横 280cm 高さ 165 cm

作者のプロフィール

作者/細谷泰慈(静岡市葵区)
1938年 静岡市生まれ
1963年 東京芸術大学美術学部 専攻科:彫刻 修了
1984年 静岡大学教育学部教授
1991~94年 静岡大学教育学部附属浜松小学校校長 など

《7月の機織体験開催日》
3日(水)、5日(金)、6日(土)
9日(火)、10日(水)、11日(木)
15日(月)、19日(金)、20日(土)
21日(日)、24日(水)、25日(木)
26日(金)、30日(火)、31日(水)

【心の休息・夏】
期間/6月15日(土)~9月8日(日)
展示作品/佐賀白石平野より「水門」「くど月夜」、与那国島より「島の家並」「パパイヤ実る石垣」など

博物館分館では、静岡市出身の版画家、海野光弘さんの木版画を多く収蔵しています。
日本の懐かしい原風景を表した作品が多く、分館では現在「心の休息・夏」と題した作品展を開催中です。
真夏の日差しを避けて木陰に入って一休みするような気持ちで、分館に足をお運びください。



ぶらり鳥田の宝探し
その3